

## 令和2年度 特別の教育課程の実施状況等について

|                  |          |       |
|------------------|----------|-------|
| 茨城県              |          |       |
| 学 校 名            | 管理機関名    | 設置者の別 |
| 鹿嶋市立豊津小学校（外 11校） | 鹿嶋市教育委員会 | 公立    |

## 1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

| 学 校 名         | 自己評価結果の<br>公表ウェブサイト名・URL 等  | 学校関係者評価結果の<br>公表ウェブサイト名・URL 等   |
|---------------|---|---|
| 鹿嶋市立<br>豊津小学校 | <a href="http://www2.sopia.or.jp/toyotu/wp/">http://www2.sopia.or.jp/toyotu/wp/</a> | <a href="http://www2.sopia.or.jp/toyotu/wp/">http://www2.sopia.or.jp/toyotu/wp/</a> |

## 2. 特別の教育課程の内容

## (1) 特別の教育課程の概要

これからの時代において必要とされるグローバルな視野を持った人材を早期から育成するため、小学校第1学年及び第2学年の生活科20時間を外国語活動に替えて実施する。

## (2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

本市は常陸国一の宮鹿島神宮の門前町として栄え、発展してきた。また、2002年にはFIFAワールドカップの会場地となり、2020年には東京オリンピックサッカー競技の開催が予定されている。歴史的伝統とスポーツによる活力あるまちであり、「子どもが元気 香る歴史とスポーツで紡ぐまち 鹿嶋」を本市総合計画における将来像に掲げている。世界の人々とのコミュニケーションをとおして、本市の魅力を世界に発信していくことができるグローバルな人材育成をより一層推進することが、本市の発展と教育活動の充実に必要であると考え、教育課程の特別措置申請を行うこととした。

## (3) 特例の適用開始日

2007年4月

2018年4月 変更

## (4) 取組の期間

2030年4月まで

### 3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

#### (1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

#### (2) 実施状況に関する特記事項

#### (3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

#### <特記事項>

#### 1) 第1学年児童による評価

##### ① 外国語活動の時間は、楽しいですか。

楽しい 100%                                  どちらかという楽しい 0%  
どちらかという楽しくない 0%          楽しくない 0%

##### ② ALTと英語で話したり活動したりするのは楽しいですか？

楽しい 100%                                  どちらかという楽しい 0%  
どちらかという楽しくない 0%          楽しくない 0%

##### ③ 英語を話せるようになりたいですか。

話せるようになりたい 66%          どちらかという話せるようになりたい  
33%          どちらかという話せるようにならなくてもよい 0%  
話せるようになりたくない 0%

##### ④ 外国のことをもっと知りたいですか。

知りたい 66%                                  どちらかという知りたい 33%  
あまり知りたくない 0%          知りたくない 0%

#### (2) 第2学年児童による評価

##### ① 外国語活動の時間は、楽しいですか。

楽しい 100%                                  どちらかという楽しい 0%  
どちらかという楽しくない 0%          楽しくない 0%

##### ② ALTと英語で話したり活動したりするのは楽しいですか？

楽しい 100%                                  どちらかという楽しい 0%

- どちらかというとなんか楽しくない 0%      楽しくない 0%
- ③ 英語を話せるようになりたいですか。
- 話せるようになりたい 100%
- どちらかというとなんか話せるようになりたい 0%
- どちらかというとなんか話せるようにならなくてもよい 0%
- 話せるようになりたいたくない 0%
- ④ 外国のことをもっと知りたいですか。
- 知りたい 100%                              どちらかというとなんか知りたい 0%
- あまり知りたくない 0%                      知りたくない 0%

(3) 教職員による評価

- ① 第1学年からの外国語活動の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。
- |                 |      |               |    |
|-----------------|------|---------------|----|
| 思う              | 100% | どちらかというとなんか思う | 0% |
| どちらかというとなんか思わない | 0%   | 思わない          | 0% |
- ② 第1学年からの外国語活動の実施は、英語に慣れ親しむことにつながっていると思いますか。
- |                 |      |               |    |
|-----------------|------|---------------|----|
| 思う              | 100% | どちらかというとなんか思う | 0% |
| どちらかというとなんか思わない | 0%   | 思わない          | 0% |
- ③ 第1学年からの外国語活動の実施によって、外国の文化(生活, 習慣, 行事等)に対する興味・関心が高まっていると思いますか。
- |                 |      |               |    |
|-----------------|------|---------------|----|
| 思う              | 100% | どちらかというとなんか思う | 0% |
| どちらかというとなんか思わない | 0%   | 思わない          | 0% |
- ④ 第1学年及び第2学年からの外国語活動に期待することは何ですか。
- (自由記述)
- ・小さい頃から英語に慣れ親しむことで、英語が身近な言語となってほしい。
  - ・今後グローバル社会で生きていくための語彙力につながって欲しい。
  - ・楽しい授業。

(4) 保護者による評価

- ① 第1学年からの外国語活動の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。
- |                 |     |               |     |
|-----------------|-----|---------------|-----|
| 思う              | 78% | どちらかというとなんか思う | 22% |
| どちらかというとなんか思わない | 0%  | 思わない          | 0%  |

② 第1学年からの外国語活動の実施は、英語に慣れ親しむことにつながっていると思いますか。

|              |     |            |     |
|--------------|-----|------------|-----|
| 思う           | 89% | どちらかというと思う | 11% |
| どちらかというと思わない | 0%  | 思わない       | 0%  |

③ 第1学年からの外国語活動の実施によって、外国の文化(生活, 習慣, 行事等)に対する興味・関心が高まっていると思いますか。

|              |     |            |     |
|--------------|-----|------------|-----|
| 思う           | 67% | どちらかというと思う | 11% |
| どちらかというと思わない | 22% | 思わない       | 0%  |

④ 第1学年及び第2学年からの外国語活動に期待することは何ですか。

(自由記述)

- ・外国語に慣れること
- ・外国語も大事だが、日本人なので日本語も日本の文化、歴史なども大切にしよう、もっと勉強しようという気持ちになってほしい
- ・日常で使うちょっとした会話ができるようになって欲しい。
- ・外国と日本の違いなどをもっとお話して欲しい。
- ・英語に苦手意識をもたないような外国語活動を期待します

#### 4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

本校において、ALTとの交流や外国語活動において、ALT(海外の方々)や外国語に慣れることで、自然と外国語が出るような環境づくりにつながっており、ほとんどの児童が、外国語活動の時間を楽しみにしている。グローバルな人材育成に向けた礎が培われていると感じている。

一方で、保護者の「第1学年からの外国語活動の実施によって、外国の文化(生活, 習慣, 行事等)に対する興味・関心が高まっていると思いますか。」のアンケート結果で、「どちらかというと思わない」が22%いることから、本校の外国語活動の様子や現状、成果等をきちんと情報発信していきたい。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

第1学年から外国語活動を実施してきた第6学年対象の外部調査「小学校英検トライアル」において、成果が出ている。特に、Leadingにおいて、好成績を出している。

一方で、高学年になり、アルファベットを覚えたり、英単語の語彙が増えたりすると、外国語に対して苦手意識をもち、外国語での活動に消極的になる課題がある。

#### 5. 課題の改善のための取組の方向性

このような課題を踏まえて、日頃から「間違えてもいいんだ」と思える学級集団の雰囲気や学校の教育活動全体を通して醸成し、意欲的に外国語活動に取り組む児童の育成を図っていきたい。

